

ボツワナ・バドミントン連盟へのバドミントン用具の提供

令和6年11月22日
在ボツワナ日本国大使館

11月20日、令和6年度「スポーツ外交推進事業」を通し、公益財団法人日本バドミントン協会から提供を受けたバドミントンラケット、シャトル、ラケットカバー等のバドミントン用具の引渡式が行われ、ボツワナ・バドミントン連盟に寄贈されました。

ハボローネ市内のボツワナ国立競技場にて行われた同引渡式には、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、ジェイコブ・ケレベン・スポーツ・芸術大臣をはじめ、ボツワナ・バドミントン連盟会長、ボツワナ・ナショナル・オリンピック委員会会長、ボツワナ・ナショナル・スポーツ委員会会長、バドミントンのボツワナ代表選手、JICAボツワナ支所など約40名が出席しました。

大森大使は、式典挨拶にて、日本政府のスポーツを通じた国際交流・協力の取組である「Sport for Tomorrow」の一環として、スポーツ分野における国際協力と国際交流の促進を図ることを目的として、本事業が実施された旨説明しました。また、ボツワナ・バドミントン連盟に配属され、指導者として活動を行う福田JICA海外協力隊員を紹介し、本寄贈品は同隊員の活動及び配属先連盟の活動を支援するために提供されたものであり、ラケット等は日本バドミントン協会が一般市民に寄付を呼びかけ、集められた貴重なスポーツ用具である旨述べました。

ケレベン・スポーツ・芸術大臣は、ボツワナ政府、同省及びボツワナ・バドミントン協会を代表し、日本政府及びバドミントン用品の寄付を行った日本国民に対し、感謝の意を表しました。さらに、バドゥビ・ボツワナ・バドミントン連盟会長は、スポーツ設備や用具が十分でないボツワナにおいて、当国のスポーツ発展のため今回の寄贈品が大いに役立つ旨述べました。

今回寄贈されたバドミントン用具は、ボツワナ代表選手や一般選手が使用するほか、若い世代へのバドミントンの普及のために活用される予定です。



大森大使と引渡式参加者



寄贈されたバドミントン用具